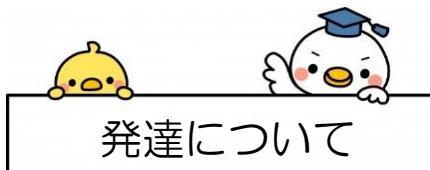


絵本選びのポイント

1歳児



言葉と物のイメージが一致してくる1歳児



からだ

一人歩きで行動範囲が広がり物への認識が深まる。

よちよち、とこここ歩いて行動を広げ、さまざまな体験を楽しみます。指をさし、触ることで物への認識を深めます。そして、歩みが安定すると、からだを使った遊びに挑戦して、ハラハラドキドキ………心が動くことを体験するようになります。

ことば

初語から2語文を話し始める。

「マンマ」「ワンワン」など、初語を話し始めます。まわりの大人が言葉に換えてあげることで物への認識も高まります。そして、「ワンワン、いた！」など2語以上を連ねて話すようになります。また、象徴機能（現実にない物事を他のものに置き換えて表現する働き）なども、この時期に始まります。

社会性

自我が芽生え始める。

体が自由に動き、言葉がわかり始めたこの時期は、自分の思い（自我）に気づき始めます。

問い合わせに「いや！」と抵抗したり、自己主張を始めたり、人間らしい自立が始まります。



絵本選びのポイント

◆身近なものが描かれていて、わかりやすい文章の絵本

◆簡単なストーリーのある絵本

この時期の子どもは、物のイメージが描けるようになり、絵を見る力も育つため、絵も文も少し複雑化したものがよいでしょう。

江南市立図書館スタッフが選んだ

1歳児のおすすめ絵本



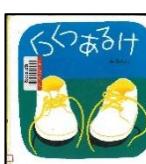
『おいかげっこで
わらべうた』
つきおかようた/文・絵
成美堂出版
(E才)

ねことたこが、わら
べうたに合わせて追
いかけっこして…。
「だるまさん」「あが
りめさがりめ」など、
子どもに伝えたいわ
らべうたに自然と触
れられる絵本。



『おひざでっこ』
内田麟太郎/ぶん
長谷川義史/え
童心社
(E才)

ばんだの母さんが、
ぼうやを呼びました。
ぼうやは母さんのお
ひざでたっこされて、
ふんわり、ぬくぬく、
いい気持ちです。今度
は、たぬきの父さん
が、ぼうやを呼んで。



『くつくなつあるけ』
林明子/さく
福音館書店
(E ク)

小さな靴が、散歩におでかけ。ばたばた走ったり、ぴょんぴょんジャンプしたり…。赤ちゃんの生活の身近なテーマを優しく明瞭な色彩で、表情豊かに描いた絵本。



『こんなかお できる?』 礪みゆき/作・絵 ひさかたチャイルド (Eコ)

ねえ、こんな顔できる？ トランさんが「ハーッ！」と舌を出すと、イヌさんやカエルさんたちも舌を出しています。つぎにトランさんが「ムギューッ！」と顔をおさえて…。



『だっだあー』
ナムーラミチヨ/作
主婦の友社
(Eタ)

「ぶっひやっぴやあー」「むちゅむちゅ」…。赤ちゃんだっておしゃべりしたいんです。調子をつけて親子で一緒に遊びましょう。触れ合いを豊かにする絵本。



『のせてのせて』
松谷みよ子/文
東光寺啓/絵
童心社
(E ノ)

まこちゃんの自動車が走ります。動物のお友だちものってきて…。繰り返しリズムも楽しい、動物や車に興味を持ちはじめた赤ちゃんにぴったりのロングセラー絵本。

タイトル	請求記号	著者	出版社
おててがでたよ	E才	林明子/さく	福音館書店
おやさいとんとん	E才	真木文絵/さく 石倉ヒロユキ/え	岩崎書店
おんぶちゃんとたいこ	E才	とよたかずひこ/作・絵	ひさかたチャイルド
げんこつやまのたぬきさん	Eケ	長野ヒデ子/作・絵	のら書店
ころころこーろころ	Eコ	みなみじゅんこ/作	のら書店
コロちゃんはどこ?	Eコ	エリック・ヒル/さく まつかわまゆみ/やく	評論社
さかながはねて	Eサ	中川ひろたか/ぶん 森あさ子/え	世界文化社
しあわせならてをたたこう	Eシ	きむらりひと/詞 村上康成/構成・絵	ひさかたチャイルド
しっぽ	Eシ	長新太/さく	のら書店
そっくりこ	Eソ	中川ひろたか/文 村上康成/絵	ひかりのくに
たまごのあかちゃん	Eタ	かんざわとしこ/ぶん やぎゅうげんいちろう/え	福音館書店
どうぶつのおやこ	Eト	薮内正幸/画	福音館書店
どろんこどろんこ!	Eト	わたなべしげお/ぶん おおともやすお/え	福音館書店
のりもの	Eノ	キアラ・ピローディ/作 アグネス・バルレッジ/作	すばる舎
バスがきました	Eハ	三浦太郎/さく・え	童心社
ぶーんぶーん	Eフ	とよたかずひこ/著	岩崎書店
ももんちゃんぎゅっ!	Eモ	とよたかずひこ/さく・え	童心社
りんごりんごりんご りんごりんごりんご	Eリ	安西水丸/著	主婦の友社